



脳卒中 地域連携パス使用患者数

大腿骨近位部骨折 地域連携パス使用患者数

<項目解説>

地域連携クリティカルパスとは、診療にあたる複数の医療機関が、役割分担と診療の内容をあらかじめ提示・説明することにより、患者さまが安心して医療を受けられるようにするものです。さらに、それぞれの医療機関が有する機能を有効に活用することで、患者さまを中心とした地域全体で、質の高い継続性のある医療を提供することができます。また、在宅にむけた目標設定を行うことで、治療に対する患者さまの意欲を高めることにもつながっています。

早期の回復や後遺症の軽減をはかる上でも、重要な取り組みの一つです。

<当院の実績>

	脳卒中	大腿骨
【平成21年度】	106件	
【平成22年度】	118件	
【平成23年度】	95件	25件
【平成24年度】	90件	63件
【平成25年度】	120件	60件
【平成26年度】	109件	62件
【平成27年度】	119件	78件
【平成28年度】	133件	62件

<当院の自己点検評価>

十勝圏域の医療連携において、当院は急性期病院としての役割を担っています。発症直後における適切な治療のみならず、回復期や維持期まで継ぎ目のない連携がなされるよう、地域の医療機関・施設との協力体制をさらに充実させていきます。

<定義>

- ・地域連携パスの使用患者の実数
(脳卒中・大腿骨近位部骨折)

<算式>

実数